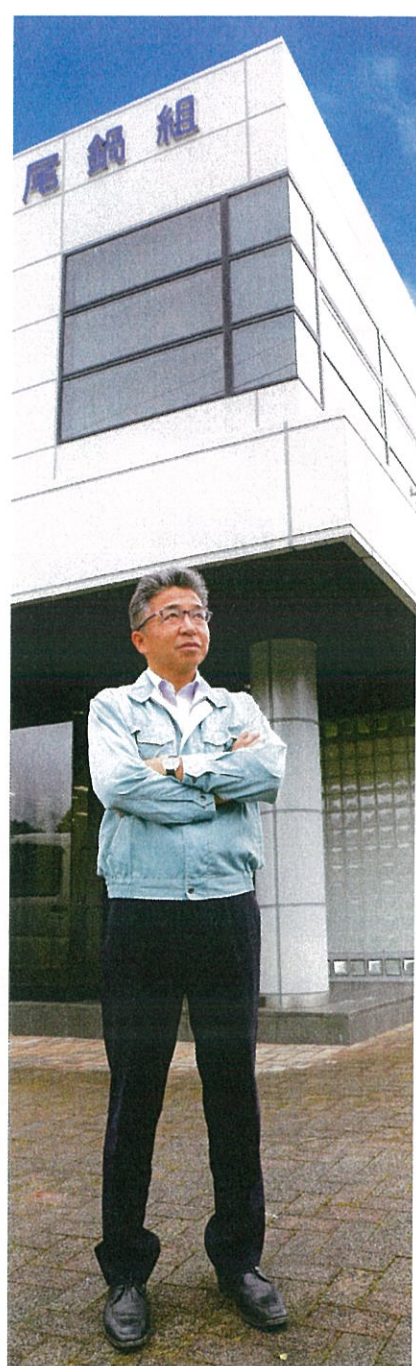


# 特集1

## 株式会社尾鍋組



社屋正面前に立つ尾鍋社長

産学との共同研究で不可能を可能にした工法が誕生

# 地球環境にやさしい、 世界初の技術を全国へ。

創業者・父の時代から続いた工事請負事業は減少。「絶対に不可能」のレットルを貼られても決して断念せず前に進み続けた新工法の開発：松阪市飯高町から全国に発信される、世界初の地盤改良工法の誕生秘話を株式会社尾鍋組の代表にお聞きしました。



太陽と尾鍋組の頭文字「O」を表したロゴマーク



エコシオ工法で使用する石は地元松阪で採掘された石を使用して地産地消を行っている

## 土木請負業から先代が創業

奈良県との県境、県南西部に位置する松阪市飯高町。緑豊かな山々に囲まれたこの地に本社を有する、株式会社尾鍋組の尾鍋哲也社長にお話を伺いました。

同社の創業は昭和37年。お父様である先代により、建設工事請負業の会社として立ち上げられました。転機となったのは、平成15年に現社長が開始した地盤改良事業。「アクパド工法」と呼ばれる、砕石だけを使用する新しい特許技術の地盤改良工法の取り扱いをスタートしました。

翌平成16年に同工法の取組をテーマに中小企業経営革新支援法の承認を取得。平成17年には、百五銀行・三重大学と連携し、アクパド工法導入の際の金利優遇システム「百五アクパド工法優遇ローン」を開始します。また、同年に哲也氏が代表取締役就任されました。

平成17年は、まさに尾鍋組の飛躍の年。三重大学の児玉教授との共同開発を開始し、経済産業省・国土交通省から新連携計画の認定を得たのもこの年です。

快進撃はさらに続きます。平成19年4月には、三重大学大学院の酒井教授と共に「砕石を用いる独自の地盤改良技術」の共同開発を開始。これこそが、現在同社の土木事業とならび主軸事業となる「エコシオ工法」です。



仕事も人生も熱く  
語っていただいた尾鍋社長

技術発表会や大学での講演も多い尾鍋社長、その話し方や内容には笑いや感動と情熱が感じられ、人を惹きつける尾鍋哲也社長の魅力がひしひしと伝わってくる

## 土木事業を凌ぐまでに成長

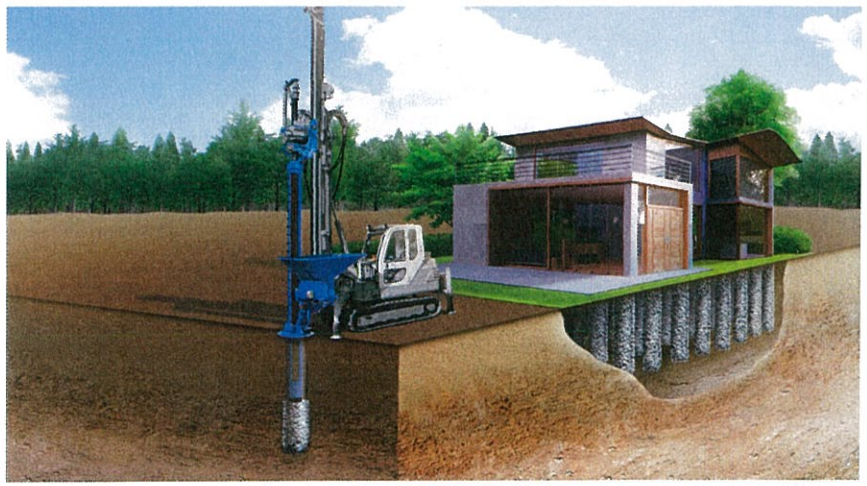
工コジオ工法は平成22年に特許を取得。同年、建築技術性能証明を取得し事業が開始されました。この工法は従来工法で使用されているセメントや杭を使わず、自然石である砕石のみを用いて行う地盤改良技術。地中に人工物質を残さず、地球環境への環境負荷が少ないのが特徴です。建造物の解体時に地中から杭やコンクリートを撤去する必要がないため、コストの軽減や土地の価値低下を防ぐことにもつながる画期的な工法といえます。

工法開発の途中では、今だからこそ語れる、苦勞もありました。開発開始の数年後、公共事業は受注のピークを過ぎ、減少の途をたどります。ピーク時の半分まで売上を減らした年度もあったそうです。創業以来の事業であった建設請負業が売上の大半を占めている以上、事業のさらなる発展は非常に難しいと、尾鍋社長は感じていたと言います。

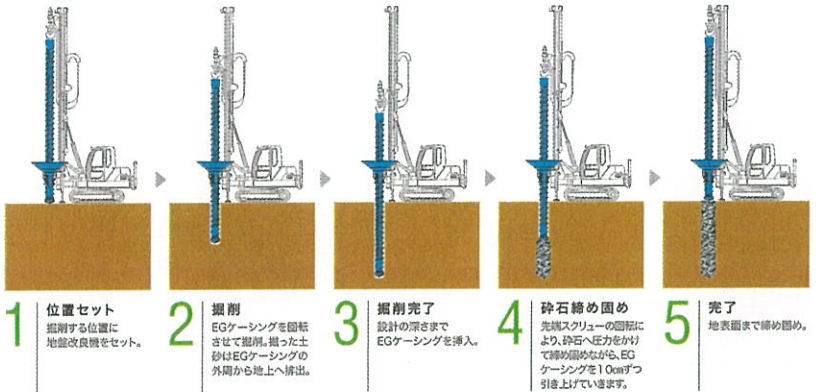
「環境に負荷がなく、施主様の大切な財産である土地の価値を下げない」。人々のお役に立ち社会からも求められる、自社の独自技術が生み出したこの工法に自信と誇りを持ち、尾鍋社長は不屈の精神で臨み続けました。平成26年度決算では地盤改良事業売上が土木事業売上に越えるまでに成長。同時に営業利益率も顕著に増加しています。



高品質の決め手は  
EGケーシング&  
締め固め管理



エコジオ工法による地盤改良作業の様子



## ECO GEO

### エコジオ工法協会 概要

■加盟企業/35社 (平成27年8月現在)

■設立の目的/1.地球環境負荷の低減に貢献する。  
2.常に高品質な地盤改良工事を提供する  
3.顧客の資産価値の保全に貢献する。

■設立年月日/平成22年12月4日

■役員/会長: 尾鍋哲也

顧問: 酒井俊典 (三重大学大学院 生物資源学部教授)  
杉山早実 (㈱三重TLO/三重大学内)



エコジオ工法協会の研修風景

## 産学連携が生んだ 世界初の技術

従来事業の業績不振に苦しんでいた平成22年。尾鍋社長はエコジオ工法の普及を目的とした全国組織を、三重大学・㈱三重TLO・日本車輛製造(株)等と共に立ち上げました。環境負荷の少ない地盤改良技術により、安心して生活できる、安全な住環境を創造する。を理念に掲げた、「エコジオ工法協会」の誕生です。

取材当日、会議室では奇しくも協会の研修が開かれており、宮崎県と神奈川県、の施工代理店の皆さんが講義に聞き入っておられました。現在35社の施工代理店が、全国から事務局のあるここ飯高町を訪ねてノウハウを取得し、各地でエコジオ工法による施工を行っています。

また同工法は、地域や環境に貢献する事業でもあり、原材料となる石は、地元で採石したものを地元企業から仕入れ、地域産業の活性化にも貢献しています。

地盤改良後に放出されるCO<sub>2</sub>の排出量はセメントの数百分の一程度であり、土地のみならずCO<sub>2</sub>排出量の削減にもプラス効果となっています。そんな社会ニーズとの合致もまた、エコジオ工法普及の追い風となり、年間10社ずつの割合で施工代理店が増加しているそうです。

「成功するまでやり続ける」。産学連携で誕生した世界初の画期的工法は、尾鍋社長の不屈の精神が生んだ賜物です。



## 不可能を可能にする 尾鍋流、教育方針とは…

### あきらめない社風づくりは できる方法を考え続ける習慣から

平均年齢は40才。地盤改良部門5名、建設工事部門10名の社員さんからなる尾鍋組。尾鍋社長からお聞きした社員教育方針は「できる方法を考える社員を育てること」。世界初の工法技術開発に際して、協力を依頼した外部企業や関係者から「開発は絶対に不可能!」と言われ続けても決して断念せず、不可能を可能にした尾鍋社長ならではの教育方針です。

毎月定例の全社安全会議での現場状況報告を他部門間でも情報共有し、また、年間3回程度の懇親会で楽しみながらチームワーク力を強化しています。

エコジオ工法を全国に普及させ、公共事業分野にも広げていきたいという目標を共に実現してくれる心強い仲間たち。私たち取材班が会社を訪ねた当日も、会議室で熱心な研修会が繰り広げられていました。



### 私のプライベートタイム ウィンドサーフィンとまちづくり

尾鍋社長のプライベートタイム、休日の過ごし方を伺いました。「工法開発中は『ほとんどすべての人間は、もうこれ以上アイデアを考えるのは不可能だ』というところまで行きつき、そこでやる気をなくしてしまう。勝負はそこからだというのに」トーマス・エジソン、この言葉に奮い立ち、平日も休日もなくとにかく仕事一筋でした(笑)…最近になって、ゴルフをたしなんだり、若い頃に夢中だったウィンドサーフィンも再開しました。また、宮前まちづくり協議会の役員をしていることから町づくり活動に動しむ機会も増えました」。



本社事務所にて考える社員と共に話す尾鍋社長



#### 株式会社尾鍋組

三重県松阪市飯高町宮前321-4  
TEL.0598-46-0234  
<http://onabe.co.jp/>

創 立 昭和37年11月  
設 立 昭和59年6月  
資 本 金 35,000,000円  
代 表 者 代表取締役 尾鍋 哲也  
事 業 内 容 総合建設工事業、  
地盤改良(エコジオ)事業

#### 取材後記



強い信念で成功をめざし突き進み続けた尾鍋社長。三重県発の環境にやさしいエコジオ工法が、今後ますます広がっていくことを期待しています。